

# SSKW 働こう障害者も 働けるんだオしたちも

# こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会 責任者：藤田 勝春 編集責任者：鈴木 順子  
編集：こぶし作業所 (〒321-0902) 宇都宮市柳田町1401番地



日産工場見学

## 特集

今年もきょうされんの国会請願署名・  
募金運動がはじまりました。

No.272



## ～ 目 次 ～

- ① 特集..... 2～3 P
- ② こぶし作業所のページ..... 4 P
- ③ けやき作業所のページ..... 5 P
- ④ サポートセンターのページ..... 6 P
- ⑤ セルプ・みらいのページ..... 7 P

# 今年もきょうされんの国会請願署名。 募金運動がはじまりました。

この国会請願運動も今回で二七回目！チクタクチクタクと本当に粘り強い運動を展開しています。が、まだまだ日本の障害者施策は不十分なもの・・・いや、むしろ逆行しているともいえます。

今年度からスタートしました支援費制度を見ても、利用者がサービスを選び、契約を結び、サービスを受ける。利用者本位を高めるにうたった支援費制度であるはずが支援費対象の社会資源の絶対的な不足という問題があります。特に通所型施設が一ヶ所もない市区町村が全体の七割を超えているということ、これで何を選べと言わないでしよう。到底選ぶことはできません。

また、地域での生活を支援する

制度でありながらその言葉とは裏腹に、二〇〇二年一月には身体・知的の地域生活支援センター補助金の一般財源化(この事業にしか使ってはだめよ!)という特定財源と違い何に使ってもいいよ!という一般財源で扱いなさいということは、自治体に責任がなくなり、その事業をやめたいというこ

ともできるようになり、二〇〇三年一月にはホームヘルパー利用制限問題。五月には精神障害者社会復帰施設の施設整備費大量不採択(自治体が認めているのに国は申請数の二割台の採択でしかありませんでした)。

さらには、来年度の政府予算案

編成に関連して社会保障制度の最

も根幹と言える生活保護費国庫負担金の大幅削減案(国の負担割合を四分の三から三分の二に引き下げようとしています)を厚生労働省が打ち出しました。「言うこと

とやるがちがはぐ」とはこういうことを言うのです。  
第二けやき作業所などの小規模作業所の問題も、同じ障害者の働く場なのに小規模作業所への補助金はこぶしやけやきやみらいのよな通所授産施設に比べ五〇分の一しかありません。しかも、現在六、〇〇〇ヶ所ある作業所の半分位にしか支給されていません。

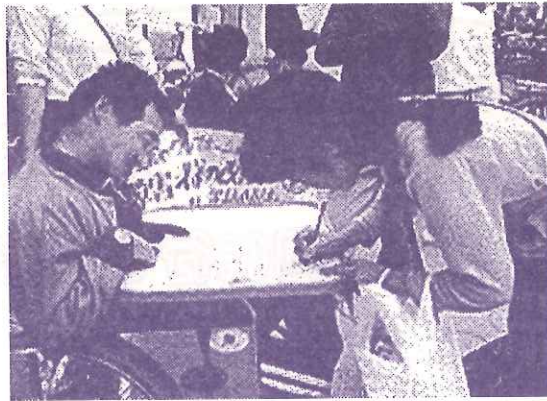
このような現状の中でも、厚生労働省は小規模作業所への補助金

を今年度一〇%減額しました。さらに来年度も一〇%減額を提案しています。

このような状況の下、地域の障害者施策においてなくてはならない重要な社会資源としてその役割を果たしている小規模作業所や小規模通所授産施設に対して地域の社会資源にふさわしい公的補助が支弁されること。また、支援費制度が障害のある人の豊かな生活を支える手段としていつそう拡充されていくこと等を願い、このきょうされん第二七次国会請願署名・募金運動を意気高く、大きく展開していただきたいと思います。よろしくお願ひします。

① 特集

取り組み期間は二〇〇四年四月三〇日までです。五月には、三〇名近くの代表団で全ての国会議員を訪問する国会請願行動を行います。



① 請願項目

① 小規模作業所ならびに小規模通所授産施設に対する公費支弁を現行の通所授産施設と同水準としてください。また、小規模作業所に対する国庫補助制度については、交付方法などを見直し、さらなる拡充

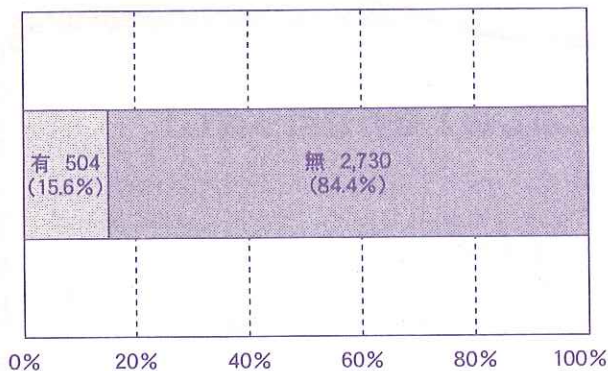
を図ってください。

② 支援費制度については、選択が可能となるよう、早急に社会資源の量的な整備を図ってください。また、支援費単価を引き上げケアマネージャーの配置など利用者のニーズの調整施策を整備してください。

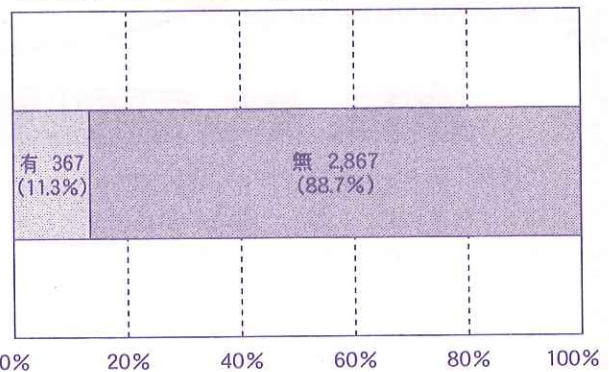
③ 障害がある人々の地域生活を拡充していくために、重度重複障害者のための通所型施設制度の創設、グループホームや精神障害者のための社会福祉施設の飛躍的な増設、また、介護施策や地域生活支援センターについて、利用者本位の拡充策を図ってください。

④ 新障害者プランを見直し、就労と地域生活を支えるために施設制度・施設体系の再編ならびに所得保障制度の拡充を図ってください。

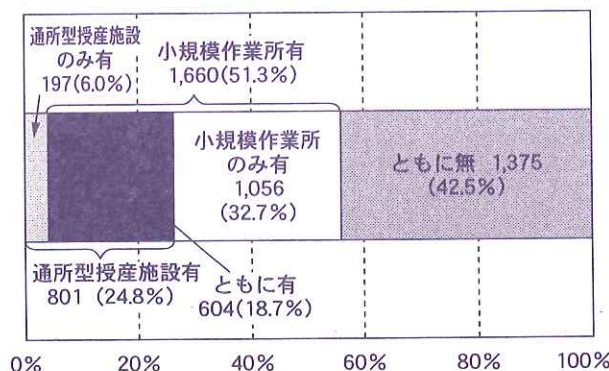
通所型施設およびグループホーム双方設置自治体の有無



精神障害者社会復帰施設設置の有無



通所型授産施設および小規模作業所の有無



## こぶし作業所ニュース

### 上野動物園に行ってきました

10月18日(土)、JRグループの日曜作業所が開催されました。行き先は、池田さんの強い要望で「上野動物園」に決定し、宇都宮線の快速電車を往復とも利用して出かけました。当日は、学生ボランティアさん6名、一般ボランティアさん1名を加え、雨に降られてしまいましたが、動物と電車の旅を楽しんできました。

池田さんと鶴野さんは、学生のボランティアさんがたくさん参加することもあり大はりきり。池田さんが「ボランティアさんがたくさんくるといいねえ」というと、鶴野さんは「わはは！」。

野口さんは、動物よりも電車。帰りの時間が近づくと、上野駅に早く戻りたいとばかり、足も速くなりました。野沢さんは、キリンやカバを目の前にして「おお!、おお!」。高橋さん、斉藤さんは、おみやげ選びが何よりの楽しみ。松永さんは、電車の形式をチェック。鬼頭さんは、上野動物園一周に満足。ボランティアさんとも仲良くなりました。

### \*なかま\*

11月



ある日の「仲間のうた」カレンダー販売のときのことでした。南那須養護学校へ野沢さんが伺いました。そこで、以前学校時代にお世話になった先生から「元気?仕事がんばってる?」と声をかけられ、大いに照れまくり笑いをかくせない野沢さんでした。



### 移転、そして再出発 (こぶしのときわ荘引っ越し)

こぶしのときわ荘は、99年10月に開所しました。宇都宮市元今泉の交通の利便のよい場所の一軒家で生活してきました。しかし、建物の老朽化が著しく、加えて国道4号線沿いということもあり深夜の騒音が激しく、利用者からも、新しく静かな家で生活したいという要望がたびたび出されてきました。

こうしたことから、こぶしでは、新しい生活の場を今年度初頭より探してきました。複数の物件を比較検討し、こぶしから近い物件に絞り込み、その中でも築10年程度の2階建ての一軒家を購入しました。階段やトイレには手すりもつき、風呂場も改造しました。

移転が決まると、利用者の準備も本格化しました。自分で荷造りできるものは自分で行き、引っ越し日(10月30日)が近づくほどに新しい生活が目に見えてきました。引っ越しに当たっては、食器の荷造り等でボランティアさんの力も借り、当日は業者さんがてきぱきと進め、あっという間に引っ越しが完了しました。

さて、利用者の様子ですが、移転翌日は「あれがない、これがない」ということもあったのですが、それ以降は落ち着いて、環境が変わっても今までと何も変わらなかったかのように新しい家に溶け込みました。入居者には広い個室も保障されました。

池田さんは「静かだ。よく眠れた」と、野中さんは「新しい家の方がいいな」と言っています。佐々木さんも「今の家のほうがいい」と、好評のスタートです。

お隣の理髪店は班長さんで、自治会長さんへのごあいさつにも同行して下さり、とても親切にいただいています。

引っ越しにご協力いただいた方に、この場を借りて御礼申し上げます。

3 けやき作業所

「第九回けやきまつり」に  
七〇〇人をはるかに超える来場者

「仲間を主人公に」「障害ある人たちが、生まれた地域で暮らせるように」をテーマに準備を重ねてきた第九回けやきまつりが、多くのご来賓と地域の人々の暖かいご祝辞の中で盛大に開催されました。

仲間を主人公にした取り組みは、企画の全てに仲間が関わっていきけるような工夫です。例えば、模擬店の中身も「自治会でいっぱい儲けたい」という意欲に押され、売れ筋商品を自治会模擬店が独占しました。今までの喫茶店の枠から抜け出し、焼きイカ、焼き鳥、モツ煮、焼きとうもろこしなど等、けやき作業所自治会、虹の会、グループホーム利用者の会など仲間たちの模擬店が華々しく販売合戦を繰り広げました。

また、お祭り騒ぎだけで終わらせることの無い様に、仲間たちの本物の願いを地域の人たちにアピールしようとして、森仁芳賀町長とのパネルディスカッションを提案してみました。あまり政治的な話し合いの経験が少なかつた仲間たちでしたが、「町長って毎日すしを食べてるのかなあ」という水準から、自治会役員

会での学習で少しずつ町の政治に関心を示してきました。まずは、町長が自分たちの企画に出演してもらえませんかということ、直井自治会長が直接町長に会いに行くことになりました。

初めて入った町長室の中で直井会長の力の入った要請に「君たちが自分から動くことが大切」と励まされ、出演を快諾していただき、まずはほっとしました。

けやき作業所

当日の様子は、下野新聞でカラー印刷の記事になって紹介されました。「好きなどこにつれていってくれるヘルパーを創ってください」「町村合併ってけやき作業所にとってどんないいことがあるのか」等と真剣なやり取りに、フロアーから心配そうに見上げる家族の皆さんの姿も印象的でした。

「生まれた地域で暮らせるように」というもうひとつのテーマは、イベン

トのなかで音楽のコラボレーションとして具体化しました。芳賀町出身のジャズバンド（中小企業家同友会の社長さん）と芳賀町東小学校的のラスバンドの子どもたち、そしてけやきの仲間たちと関係者の歌声ではちきれそうなジョイントコンサートとなりました。そして、このまつりを支えてくれた多くのボランティアの皆さん、バザー提供品を寄附していただいた企業や町民の皆さん、多

くの人々のサポートでまつりは成功裏に終わりました。

私たち職員と仲間たちは、まつりの宣伝チラシ、バザー用品の依頼のチラシ、ボランティアの依頼など、多くの公共機関、企業、そして芳賀町と市貝町の全ての家庭を訪問して宣伝を繰り広げました。

この取り組みを初めから支え、見守っていただいた道の駅や福祉課のみなさんは「けやきのみんなは頑張

るねー」と大きな評価をしていただきました。「また来年もやってくださいよ」「来年はふくしまつりとして開催できませんか」と励ましていただきました。仲間たちと職員心にはこうした多くの協力者の顔が一人ひとりはっきりと目に浮かぶようになったのではないかと思います。最後に、けやきまつりではいつも無償でおいしいおそばを提供していただいた「そばうち名人」の佐藤一正さんがまつりの準備中に突然お亡くなりになりました。ここに、今までのけやき作業所に対するご協力に感謝するとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。





県東ライフサポートセンターだより

# ほっとCHA

朝夕寒くなってきましたね。風邪をひきやすい季節です。健康管理には十分気を付けましょう！

今年もあと少し、やい残したことはあいませんか？少しずつ新年にむけて整理をし、新たな気持ちで年越しできるようにしましょうね！



## 輝く芸術的センス

毎月行っているフラワーサークル（押し花）も回を重ねるごとに少しずつコツを覚え、思い思いの作品を作るようになってきました。ハガキ・定規・しおりに続き今月は小さな壁掛けを作成しました。

色とりどりの花に囲まれながら手のひらほどの小さなフレームの中にあれこれイメージを膨らませていきます。スタッフとして毎回参加していますが始まるまでは「こんな感じで」という漠然としたイメージがありますが、実際花を前に取り組もうとすると「？」なぜかそうはいかないんですよ。不思議なものです。

でも、参加されるメンバーさん、先生とともに毎回楽しい時間を過ごしています。「カサブランカ押し花倶楽部」中林先生にはおんぶにだっこで申し訳ないほどお世話になってしまっていますが、今後も楽しい時間をお待ちしています。

\*興味のある方、ボランティアさん是非一緒にいかがですか？

## 食欲・スポーツの秋です

10月17日にほっとCHAにて、「夕食友の会」を行いました。スポーツでは体育館をお借りしてソフトバレーボールを、そして夕食会では旬の栗ご飯、けんちん汁、りんごなどをお腹一杯食べましたよ！（栗ご飯、作ったことがないメニューのときはドキドキの連続ですね。栗の皮むきも前日スタッフでがんばりました。大変でしたが皆さんにおいしく食べていただけたようでほっとしております）

今回はメンバーさんから花火をいただいたのでちょっと季節はずれでしたが、最後に楽しむことが出来ました。今回の行事に参加されたメンバーさんの感想です。

- ★栗ご飯がうまくてできてよかったです。全体的にとてもおいしかったです。また、来年もやってほしいです。
- ★スタッフの栗むきのがんばりがあった栗ご飯がとてもおいしかったです。

また来年も栗ご飯になるかわかりませんが、もしそうなったときにはメンバーの皆さん是非ご協力をお願いします！今後もおいしく、楽しい食事会ができるといいですね。

## もちもち・ふっくら・のびのび おいしいおもち

去る10月25日、けやきまつりにて精神部会として家族会の方、ボランティアさんとともにおいしいおもちを販売してきました。

つきたてのおもちはふっくらで温かくておいしかったですね。つくそばからあっという間に完売！あんこに限っては午前中に完売！今回は「売れなかったら…」ということも考えて少なめに見積もってしまったので「食べられなかった…」というかたゴメンナサイ。また何かの機会においしいおもちをご賞味くだされば幸いです。けやきまつりに関わってくださった家族会の方、ボランティアさん、当日おもちを買ってくださった地域のみなさんどうもありがとうございました。

今後も地域の方にほっとCHAの存在を知ってもらい、精神障害者への偏見や差別がない社会を目指して地域の方とともに暮らしていきたいと考えています。

# みらいニュース



## 第一回家族旅行実施

一〇月三十一日(金)、セルプ・みらいの初めての家族旅行が快晴の秋晴れの中、参加者総勢四七名で行われました。今回の旅行は約二ヶ月前から自治会で話し合われてきたもので、行き先やスケジュール、バス内レクリエーションなど仲間とともに計画してきました。行き先は那須りんどう湖ファミリー牧場と那須サファリパークの二箇所。バスの中ではテレビを使つてのビンゴゲーム・カラオケを行い、りんどう湖ファミリー牧場では自由時間を利用して取れた牛乳で作られたソフトクリームを食べる仲間やスイス鉄道に乗る仲間などそれぞれ行動し、昼食はみんなそろつて焼き肉を食べました。その後サファリパークで周遊バスに乗り園内見学をしました。バスに近寄ってくる動物に餌のビスケットをあげる仲間の楽しそうな笑顔は本当に輝いていました。

楽しい時間はあつという間に過ぎていき、みらいに帰る時間となりました。帰りのバスの中では来年もまた



家族旅行をしようとみんなで確認し終了となりました。

また保護者会や、保護者の方から、たくさんの差し入れをいただきました。ありがとうございました。

## 冬季物品販売の取り組み

今年もきょうされんの冬季物品販売が始まりました。今回は、「物品販売の収益金を仲間の冬のボーナスにしよう!」という明確な目的のもとに、セルプ・みらいの授産事業の一つとして取り組むことになりました。仲間にとつて、作業としての物品販売という取り組みは、今回初めてのことでもあり戸惑いもありますが、徐々に熱の入ったものとなつてきました。

「みらいフェスタ」での自治会によるカレンダー販売、出身校の先生へ自らコンタクトを取り購入依頼をする仲間、知り合いの方に積極的に購入依頼をする仲間...と、現在、奮闘中です。皆の熱意が、どんどん広がっていき、この取り組みを通して障害者の方々が抱える問題を少しでも理解していただけたらよいと思っております。

## 喫茶コーナーに冷蔵庫設置!

芳賀町の商店街で買い物をするといっただけの教育福祉助成券を、仲間の金谷浩

之さんのお母さんが、一枚一枚集め、セルプ・みらいに寄付していただきました。

「この助成券で何かみらいの皆に役立つものを!」ということで、兼ねてからの要望であった喫茶コーナーに冷蔵庫を置くことができました。ありがとうございました!



## 新任職員紹介

### 「横山 聡」

はじめまして、一〇月から働いている、横山聡です。下請け班(アルミ缶回収やガスケット作業)を担当しています。元気な仲間の皆さん・職員・ボランティアの方々にいろいろ教わりながら、毎日、頑張っています。趣味は、恋人代わりの山女釣りです。

今は、送迎車を運転しながら、車内での仲間たちとの会話を、たのしんでいます。

無口な性格で、にぎやかなみらいの人たちに少々圧倒され気味です。よろしくお願ひします。

僕たちのこと  
 もっと知ってほしい!

**ボランティア大募集**

けやき作業所では、作業・創作活動・GHなどで、利用者さんとの交流をして下さる方を大募集!

興味ある方は、まず連絡を!

けやき作業所  
 028-687-1040



**こぶし作業所・後援会**  
**ボランティア大募集!**

1. 日曜作業所
2. 日常の作業の介助
3. キッチン・セルフ
4. フリーマーケットの準備

お待ちしています

お問い合わせ こぶし作業所  
 ☎028(662)1911


**休日を利用して**

体験ボランティアしてみませんか?

○第2けやき・ライフサポートセンターは、なし畑に囲まれたのどかなととてもよいところですよ! ☆

☆第2けやき作業所

☆県東ライフサポートセンター ☆




**ボランティア大募集**

**セルフみらい**

箱折り、リサイクル作業  
 弁当配達のお手伝い  
 作業ボランティア...etc

☆仲間と一緒に楽しい時間を過ごしましょう☆



社会福祉法人 **こぶしの会**

- 法人事務局 こぶし作業所 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401  
 TEL 028(662)1911 FAX 028(662)1912  
 TEL 028(613)5703  
 E-mail kobusi@chive.ocn.ne.jp
- 生活支援センター
- キッチンセルフ ☎320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内  
 TEL 028(622)0966
- こぶしのときわ荘 ☎321-3235 栃木県宇都宮市鑑山町字東原146-7  
 TEL 028(667)5531
- けやき作業所  
 デイサービスセンター ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244  
 TEL 028(687)1040 FAX 028(677)5789  
 E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532  
 TEL 028(677)0495 FAX 028(687)4818  
 TEL 028(687)0311 FAX 028(687)0325
- 県東ライフサポートセンター
- すずらんの家 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2  
 TEL 028(677)4430
- けやきハイツ ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178  
 TEL 028(677)2876
- 第2けやきホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1025  
 TEL 028(677)0776
- セルフ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23  
 TEL 0285(81)1155 FAX 0285(81)1177  
 E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp

発行所 郵便番号 350-0073

東京都世田谷区砧六-二六-二一  
 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円